



飛鶴の森林から

第39号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

釧路市子ども遊学館
ゴールデンウィーク
イベント2010

木のおもちゃであそぼう!

4月29日(木)～5月5日(水)

4月29日(木)～5月5日(水) 釧路市子ども遊学館でゴールデンウィークイベント2010「木のおもちゃであそぼう!」のイベントが実施されました。会場には大・小の動くおもちゃ、木の玉がころがる巨大ゲーム機など木の遊具がたくさん用意されたほか、木にふれあう様々な工作教室が開かれました。当センターでは4月29日「アイスの棒 de クラフト」、5月4日及び5日「つみっきー(つみきあそび)」に参加しました。

「アイスの棒 de クラフト」では、アイスの棒のりを付け、テーブルやイス・箱など思い思いの物作りに挑戦してもらいました。子供と2時間かけて「車」を作り上げたお母さん、作品を作り上げた我が子に感謝するお父さんなど、親子で物作りを楽しんでいました。



アイスの棒 de クラフト

「いろいろな木を
見てみよう!」
木の標本を展示



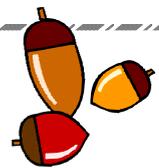
自分の背より高く積み上げて・・・



「つみっきー(つみきあそび)」は、マッチ箱程度の木片を利用した積み木遊びで、子供連れの親子や友達同士が積み木遊びを楽しんでいました。中でも自分の背丈以上に積み上げた少女や何度も積み木崩しを繰り返して遊び続けた子供と母親など、普段と変わった遊びが体験できたことと思います。

平成22年度 第1回活動

雷別 ドングリ倶楽部



5月26日(水) 小雨が降る中、標茶町と厚岸町の両町にまたがるパイロットフォレストで、会員7名が参加して、平成22年度第1回目の活動を行いました。



炭出し(炭の状況説明)

日頃は標茶町雷別地区の自然再生事業地で活動しているドングリ倶楽部ですが、今年度最初の活動は、昨年11月にパイロットフォレストで実施した「炭焼き」体験の窯を開けての炭出しを行いました。

午後から予定していた、シートラップの設置作業は、降雨のため取りやめ、第1回の活動を終了しました。

- 「雷別ドングリ倶楽部」の今後の活動予定
- 第2回目 7月14日(センター・雷別)
・苗木の移植作業と下草刈り
 - 第3回目 9月8日(雷別・PF)
・製品作業地見学及び植物の観察会
 - 第4回目 11月24日(PF)
・炭焼き体験及び保育間伐
 - 第5回目 2月23日(センター周辺)
・冬芽の観察会及び次年度の活動打合せ

その後、自然再生事業地に植付けするため、雷別地区及び周辺で採取した種子を、発泡スチロールを利用した播種床に播き付けました。昨年、ミズナラ・ハルニレ・イタヤカエデの種が不作で採取できなかったため、今年度はヤチダモ5箱とシラカンバ1箱、計6箱播種しました。

播種作業の様子



上記の他に、今年度3回実施を予定している「ボランティア養成講座」にドングリ倶楽部員として参加を予定しています。

